函館市立銭亀沢中学校 学校通信 令和7年8月28日号 第5号



銭 亀 沢



【重点教育目標】確かな学びを通して、良さを磨き自らを高める生徒の育成



子どものウェルビーイング

校長 村井 雄一

約ひと月の夏休みが終わり、銭亀沢中学校の校舎には子どもたちの賑わいが戻ってきました。さわやかに挨拶する姿、よい表情で仲間や先生方、職員と過ごす姿、熱心に勉強や部活動に取り組む姿・・・生き生きと学校生活を送っている子どもたちの姿を見られるのは、とても幸せなことです。再び始まったそんな毎日の中に、これからも子どもたちの新たな成長を感じ取りたいと願っています。

さて、このところ「ウェルビーイング」という言葉が身近なところでも聞かれるようになりました。教育の分野でも、「子どものウェルビーイングの向上」がしばしば取り上げられます。

「ウェルビーイング(well-being)」とは、well (よい)と being(状態)からなる言葉です。世界保健機構(WHO)では、ウェルビーイングを「個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される」と紹介しています。なんとも曖昧で具体がイメージしにくいと感じるような定義ですが、「よい状態」や「健康と同じように日常生活の一要素」というところが、私には「人生を幸せに過ごすために不可欠なもの」と映ります。さらに学校に勤める私は、ウェルビーイングを「学校でも子どもが幸せでいられるためのもの」と置き換えて考えたりもします。

これまでの日本は、欧米と比べてウェルビーイングが普及しているとは言えませんでした。最近になって注目されるようになった理由の一つに、社会的に日本人の価値観が大きく変化したことがあげられています。「お金や地位よりも幸せや健康などを求める傾向が強まった」、「心の豊かさを重視するようになった」ことが、ウェルビーイングへの共感につながったと考えられているのです。

しかし、国際的な比較調査では、日本の子どもたちのウェルビーイングは低い傾向であると報告されることがあります。また、関連した調査として、国連の持続可能な開発ソリューションネットワークが毎年発表している「世界幸福度ランキング」では、2025年の日本は147の国・地域中55位(2024年は51位)、主要7か国(G7)では最下位との結果です。ウェルビーイングを前述の「人生を幸せに過ごすために不可欠なもの」と捉えるなら、「自己肯定感」、「自己有用感」、「心身の健康」、「安心・安全な環境」、「協働性」、「多様性への理解」、「社会貢献の意識」、「未来への希望」などの「幸福度」を高める要素を、学校でも、家庭でも、子どもたちに実生活の中で実感させてやることが大切なのだと思います。

「自分には良いところがある」、「将来の夢や希望をもっている」・・・例えばこんな質問に、「yes」と自信をもって答える子どもたちが育つ学校でありたい。夏休みが明けて中学校が再開するにあたり、あらためて思っていたところです。

9月・10月の予定







	= 1 0 1 14 /// */ -	10011 (1)	W #888 // // // A // B // // W
9月2日(火)	5h6h防災教室	10月1日(水)	後期開始 生徒会役員選挙
5日(金)	ステージ設営	7日(火)	認証式 専門委員会
10 日 (水)	実力 A テスト (3 年)	8日 (水)	実力テストB(3年)
18日 (木)	専門委員会	14 日 (火)	議案審議
22 日 (月)	教育実習終了	16 日 (木)	専門委員会
26 日 (金)	銭中祭Ⅱ総練習全日準備	22 日 (水)	生徒総会
29 日 (月)	銭中祭Ⅱ お弁当の日	23 日 (木)	(~11月5日)家庭学習強調週間
30 目 (火)	6 h 前期終業式		職場体験(3年)
		29 日 (水)	校外学習(2年)1・3年お弁当の日



学校が再開しました。新しい目標をもってさらなる成長を

夏休み明け全校集会では代表の3人の生徒が、4月からの生活を振り返りつつ、これからの目標について発表してくれました。発表してくれた方だけでなく話を聞いていた皆さんの目はきりっとして凛としていましたね。これから全校生徒で切磋琢磨し、きっと皆さんは、またさらにたくましく成長していく事でしょう。期待しています。

全道卓球選手権大会に臨む皆さんです!! (8月30日~31日) 開催地は釧路です。是非とも今まで鍛えてきた力成長の成果を大いに 発揮してきてください!みんなで応援しています!!!

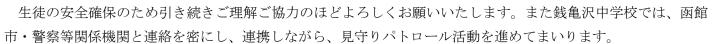


8月25日から9月22日まで教育実習生の方がいらしてます。銭亀沢中学校の生徒の皆さんと同じ学生として教職を目指すという目標に向かって4週間頑張ります。よろしくお願いいたします。



クマ被害防止対策措置に理解・ご協力いただきありがとうございます。

お忙しい中、連日登下校の送迎にご協力いただき、誠にありがとうございます。



気象庁の会見の実際の様子 (NHK ニュースより



30 日午前 8 時 25 分ごろにロシアのカムチャツカ半島付近でマグニチュード 8.7 の地震が起き、津波警報が発表されたことで避難指示が発令され不安な時間を過ごしたご家庭もあったかと思われます。学校では津波想定の避難訓練を 毎年実施していますがこれを機会にご家庭でも以下の事について話し合ってい ただけたらありがたいです。

緊急時の避難について ご家族でも確認を

- ・登下校の途中、被災した場合どこに逃げるのか安全か(ハザードマップなどを見ながら登下校以外の外出時も想定し確認をしてください)
- ・どのように家族間で連絡を取り合うのか等、お子さんを通して担任にお伝えいただけるとありがたいです。
- ・学校での活動中(授業・部活・放課後)大津波警報(津波警報)等が発令されたら、二次避難場所である鶴野基幹 農道(学校裏山)に熊対策をしながら避難します。
- ・避難の状況(避難場所等)について TETORU でお知らせします。
- ・状況によっては保護者にお迎え要請をします。

もしも津波警報等が発令されたら...

9月2日(火)5・6時間目防災教室です。もしお時間ありましたらご参観ください。